

平成30年度 第2回会津若松市子ども・子育て会議 議事録（概要）

日 時：平成30年10月24日（水） 午前10時30分～午前11時30分  
場 所：一箕公民館2階講義室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議 事

(1) 会津若松市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について

発言者	質疑内容等
○会長	<p>それでは、早速議事に入りたいと思います。お手元の次第の(1)会津若松市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査についてを案件と致します。まずこの案件について、事務局より説明を求めたいと思います。</p>
●事務局	<p>(資料に基づき内容を説明)</p>
○会長	<p>ありがとうございました。今事務局より説明がございましたが、内容につきまして、皆様のほうから何かご質問・ご意見等ございましたら挙手をしていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
○委員	<p>【資料1-3】のアンケートについて、こちらは生徒さんに直接書いてもらうのみで、保護者の方の意識を聞くことは考えていませんか。子どもと親の意識の相違等を見つけることなどは考えていませんか。</p>
●事務局	<p>今回のアンケートは放課後の居場所を問う形で、未就学児や小学生を対象を絞った5年前のアンケートにはなかった部分になります。中学生・高校生の居場所ということで、どういった活動をしているのか、どういった居場所が必要なのかということ把握したかったので、まずは生徒の意識に絞った形でアンケート調査を実施したいと考えています。</p>
○委員	<p>【資料1-2】のアンケートについて、小学校2年生・5年生が対象になっていますが、同じ世帯に双方の児童がいた場合、それぞれのアンケートに答えていただく形になりますか？それぞれの学年で重複している質問もあると思いますが、どうお考えですか？</p>
●事務局	<p>未就学児へのアンケートにつきましては、対象の児童が二人いる世帯については、上の児童の分のアンケートに答えていただければと考えていましたので、同じ考え方で、2年生・5年生に児童のいる世帯につきましては、5年生の世帯として答えていただく形を考えています。</p>
○委員	<p>前回と今回で、ニーズ調査の内容がどのように変わっているのか。今回の特徴的な部分があれば、お伺いしたいです。</p>
●事務局	<p>今回、項目として大きく変わった部分を申し上げますと、まず【資料1-1】では、「ご家族の状況についてうかがいます。」の中の間6・7は前回のアンケートの中にはなかった部分になります。また、「お子さんの遊び場についてうかがいま</p>

	す。」の部分も、新たな項目として設定しています。そして、中学生・高校生を対象とした【資料1-3】は初めて実施します。
○委員	【資料1-1】に関して、4,400世帯というのは、全ての未就学児世帯ということでしょうか。
●事務局	2018年10月1日時点になりますが、未就学児の全世帯になります。
○委員	このアンケートは郵送で送り・返してもらうという回収方法でよろしかったですか？また、回収率の目標等がありますか？
●事務局	郵送で送り・返してもらうという方法で考えています。 前回2,000世帯を対象としたアンケートでは40%近い回収率でしたので、今回4,000以上の世帯と、分母の数がかかなり大きくなりますので、3~4割の回収率を目標として考えています。できれば2,000世帯程回収したいと考えていますが、かなりボリュームのある内容で、忙しい家庭も多いので難しいところもあると考えておりますが、目標としては、3割を超えて4割近く回収できればと考えています。
○委員	その努力には努めてもらえればと思います。また、目標を下回る回収率だった場合、そのデータは有効に活用するお考えですか？
●事務局	あくまで目標という形ですので、データは有効に活用できると考えています。ただ、例えば400件ですとか、1,000件以下の回収だった場合、それを有効的なデータとして活用するのには考える余地がございますが、1,000以上の数であれば、有効なものとして考えていきます。 こちらのアンケートにつきましては、11月下旬の実施を考えていますが、12月1日号の市政だよりやホームページでも、アンケートの周知を図っていきたく考えています。
○委員	【資料1-1】の中の、「土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中」の項目について、働き方改革の視点も含めて、考えられているところだと思いますけども、この調査を含めて議論を深めることも重要だと思います。その中で、働き方改革を推進していく中で、土曜日等、私都合で園を利用するというのは、矛盾を感じることもあります。 そうなってくると、支給認定1号と2号の差が、認定こども園の中で大きくなり、そこが大きな課題であると感じました。その点について、市はどう考えていますか。
●事務局	各園の状況を聞いてみると、確かに土曜日を利用している世帯は少なくなっていると認識しています。その中で、同じ園でも1号認定で利用している方と2号認定で利用している方とでは、保育料の問題等一本では考えづらいような部分があります。簡単に解決することのできない難しい問題で、そこには親御さんの意識の問題も含まれてくる場所ですので、どの園でも同じような課題があるとは耳に入ってきておりますので、意識を持って取り組んでいかなければならない課題だと考えております。
○委員	【資料1-1】の「保護者の就労状況について」の部分で、勤務形態等どういう働き方をしているのかを把握する際に、パートかフルタイムかというこの書き方は把握しづらいと思いましたので、次回以降説明の仕方等、もっと把握しやすい形を研究していただければと思います。この件につきましては、次回以降考慮していただければと思います。

○委員	中学生への放課後の居場所に関するアンケートの部分で、特別支援の子どもたちについて、情緒障害の子どもたちは書ける内容かと思いますが、知的障害の子どもたちには難しい内容だと感じました。その点についてはどうお考えでしょうか。
●事務局	全てのお子さんに書いていただきたいと思っておりますが、その点は学校さんと相談して考えていきたいと思っております。
○委員	はい。ご配慮願えればと思います。
○委員	内容のことではないんですが、ページ番号を振っていただければと思います。
○委員	このアンケートは今回初めて出されたんですか。今回のと前回のでは、児童数が減っていると思いますが、内容はそれに対応した形になっているんですか。また、市政日より等での周知はわかりましたが、配った後はどのような対応をお考えですか。特に中学生は、アンケートを取って終わりではなくて、どのように対応していくかお考えでしょうか。
●事務局	5年前にも同じような形でニーズ調査をさせていただいております。それは、未就学児と小学校の保護者を対象とさせていただいて、今回新たに、中学生・高校生を対象とさせていただいたところです。 実際の回収に向けた動きの点につきましては、小・中学校に回収の呼びかけを協力依頼し、少しでも回収率を上げたいと考えています。
○委員	子どもたちは放課後の時間とても忙しくなっていますので、その中で提出してくれたアンケートについては、生かすようなものにしていただければと思っています。
○委員	【資料1-3】の中の問9の部分で、「8.運営に自分たちもかかわることができる（意見を取り入れてもらえる）」という選択肢がありますが、この運営という言葉がわかりづらいのではないかと思いますのですが、どういった意図で聞かれているのですか。
●事務局	あくまでも事例としてお話させていただきたいと思いますが、例えば児童館などの施設の中で、中学生が主体となって行事を行う等の活動を考えています。現実的にそのような活動を行っている児童館や、中学生が主体的に1年間活動している事例もございますので、そういった形を想定した選択肢になっています。
○委員	この文章だけでは、児童が読みにくいのではないかと思います。今の例を入れていただいたり文章を詳しく書いていただいたりすると、児童は答えやすいと思います。
●事務局	わかりやすい表現を検討させていただきます。
○委員	これからの予定はどのように考えていますか。
●事務局	まず未就学児のアンケートにつきましては、11月下旬に郵送にて配布をし、12月中旬を締め切りに回収したいと考えています。小学生や中学生・高校生を対象としたアンケートについては、12月上旬には配布をし、冬休み前に回収という予定で考えています。

○委員	<p>年明けから年度内を目途に、回収したアンケート内容のデータ化を行い、来年度の子ども・子育て会議にて結果を報告し、計画策定に向けて取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>幼児教育無償化も控えているところなので、働く人が増えるのかどうか、把握できるようなアンケートの項目もあるとよいと考えます。</p> <p>一気に支給認定の2号認定が増える問題等、いろいろな問題を幼児教育無償化は抱えています。市の需要と供給のバランスが大きく崩れることもあるので、細かく内部を精査していただきたいなと思います。</p>
●事務局	<p>幼児教育無償化については、後ほど詳しくご説明いたしますが、働く人が増えるのか増えないのか、また、1号認定から2号認定に移行される方がどのくらいいるのか等、今の段階から見通すことは難しいと思います。その分、今後の動向を見ていきたいと思っています。</p>
○会長	<p>他、いかがでしょうか。</p> <p>もしなければ、先ほどの幼児教育無償化の関係で、次の報告事項も関係しておりますので、議事の2に進めさせていただきまして、また、委員の皆様から議事の1につきまして、お気づきの点等ありましたら伺えればと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

(2) 【報告事項】平成31年度利用者負担額（保育料）について

発言者	質疑内容等
○会長	<p>それでは、(2) 【報告事項】平成31年度利用者負担額（保育料）について、事務局より説明を求めたいと思います。</p>
●事務局	<p>(資料に基づき内容を説明)</p>
○会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今事務局の方から説明がございましたが、皆様の方から何か御質問・御意見の方がございましたら、お願いします。</p>
○委員	<p>質問ではないんですが、漢字について、「子供」と漢字で表記されておりますが、この漢字はあまり適切ではないと認識しておりまして、「子ども」という表記が適切かと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>この漢字の意味では「供える」という意味ですので、あまりよくないのではないかと思います。</p>
●事務局	<p>わかりました。</p>
○委員	<p>今の質問と同じく「障害」という表記でも、どういった統一した表記の仕方を考えているのか気になります。通常はひらがなで「障がい」かと思っています。</p>
●事務局	<p>この「がい」については、国の制度で、施設の名前には漢字で「障害」という表記と決められています。障がい児についてはひらがなの表記で、そういった区別を行っております。</p>
○委員	<p>支給認定の1号から2号が増えて、共働きが増えて年収が増えている大まかな分析なんでしょうけども、5年間で見直しということも少子化対策としてと書いてあ</p>

<p>●事務局</p>	<p>るので、少子化対策としては有効だったのかどうかという点はいかがでしょうか。若松市の多子軽減の考え方などはよいと思いますが、それが少子化対策としてはどうだったのか。</p> <p>また、保育料に関していえば、近隣の磐梯町や猪苗代町などは無償化がされていて、そちらに住むほうがいいと思う人もいると思うのですが、その点からも少子化対策として、若松市はどういった印象を抱いているのか伺いたいです。</p> <p>少子化対策についての有効性について、残念ながら出生数としては毎年下がっている現状です。数年前までは1,000人だったところが、今では900人を切る人数になってきております。その点に関しては、即効性のある対策は考えづらいところです。20～30代の女性の数がかなり減ってきている状況がございまして、その関係もあって出生数がなかなか伸びていません。また、働き場所がなく地元に残れず、高校を卒業するとなかなか戻ってこれないということもあり、市としても、専修学校を案内して地元で定着できるよう声かけ等を行っていますが、即効性はなく、現時点では難しいです。</p> <p>また、近隣で無償化を行っているということですが、そのほとんどが公立の幼稚園・保育園であります。若松市の規模で同じように取り組んでしまうと、かなりの財政的な負担になってしまいうところがございますので、難しいところがございます。ですので、それについては、利用者の負担の軽減ということで、多子軽減の考え方や利用者負担額の階層を国よりも多く設けている等、違うやり方を行っているところ。そういった方法を、これからも行っていきたくと思います。</p> <p>また、3～5歳児の幼児教育無償化を行うことでも、2,000世帯というかなり多くの方々に影響があることなので、どのような影響が出るのかも見て、検討させていただきたいと考えております。</p>
<p>○委員</p>	<p>無償化の動向を見るということで、31年の動向を見て31年の10月から導入ということになると、利用者負担額は31年10月以降変わる可能性があるということですか。それとも、市としては無償化は行わないということですか。</p>
<p>●事務局</p>	<p>毎年市民税の改定が6月に決まり、それをもとに、9月頃に保育料の算定を行っています。まずその中で、どういう状況になっているのか。さらに、今回無償化の対象となる3～5歳児の世帯及び0～2歳児の非課税世帯の利用者の負担の状況、その時の県及び国の状況を見て、来年度の子ども・子育て会議の中でご報告いたします。そして、改定をするべきか検討させていただければと考えております。</p>
<p>○委員</p>	<p>ということは、来年度の議題ということですね。わかりました。</p>
<p>○委員</p>	<p>障害児通園施設を利用する子どもについて、現在、3～5歳児の世帯については利用料の一割負担、また、0～2歳の非課税世帯については無償ということで運営しているところだと思いますが、それが無償化ということになりますと、どの所得の方も無償になるということでしょうか。</p>
<p>●事務局</p>	<p>一割負担で最初に支払われたものを償還するのか、初めから無償で利用料をいただかないのか、そういったやり方については、まだ国で詰め切れてない部分がありますので、これから決める形になります。</p>
<p>○会長</p>	<p>今後の当会議のスケジュールについては、どのようにお考えでしょうか。</p>
<p>●事務局</p>	<p>目途といたしましては、このニーズ調査のデータがまとまった来年度の4月以降に第一回の会議を開催させていただきたいと思っております。その中で、アンケートの結</p>

	<p>果を皆さんにお示しさせていただきたいと思います。</p> <p>それ以降につきましては、計画の策定に関することになりますが、素案から入り、来年度の10月頃までには4~5回程の会議を開催させていただいて、計画の策定をさせていただきたいと考えています。その中で、保育料の部分についても取り扱っていききたいと考えています。</p>
○委員	<p>幼児教育の無償化の具体的なイメージの中で、幼稚園は月2.57万円までなどの上限が記載されていますが、こちらに記載してある金額までは市が負担し、差額については市民が負担するということよろしいですか。</p>
●事務局	<p>新制度に入っている幼稚園では、保育料が金額の上限に示してある通りとなり、差額はありませんで全額無償化という形になります。新制度に入っていない幼稚園に関しましては、市では保育料の設定を行っておらず、各園の方で保育料の設定を行っておりますので、その場合は上限が月2.57万円までで、差額に関しては負担していただく形になります。</p>
○委員	<p>給食費等に関しては、この中には含まれていないということよろしいですか。</p>
●事務局	<p>保育料とは別に徴収されている分については、この無償化の対象にはなっておりません。</p>
○委員	<p>先ほど、今後の子ども・子育て会議の予定について話を伺ったところですが、来年度のニーズ調査の結果を報告いただく会議において、今回のように、事前の資料の配布等は考えられていますか。</p>
●事務局	<p>かなりのボリュームになると思いますので、事前に配布することで考えています。</p>
○委員	<p>満3歳で入った1号認定は無償になり、3号認定の満3歳は無償にならない等の矛盾がたくさん出てくるので、そういった課題を考えながら進めていかなければならないと思います。事業所側は人の配置も考えなければなりません。また、満3歳の預かり保育は無償にならないなどの話もあり、本当にたくさん問題がある。保育所は関係ないかもしれないが、認定こども園は特に大変だと感じました。</p>
○会長	<p>他、委員の皆様どうでしょうか。</p> <p>なければ、(3)のその他にうつりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>委員の皆様におかれまして、個別にご質問等ございましたら、直接、こども保育課さんにお尋ねいただければと思います。こども保育課さんはそういうことよろしいでしょうか。</p>
●事務局	<p>はい。</p>

(3) その他

発言者	質疑内容等
○会長	<p>それでは、議事案件といたしましては、(3)に移ってまいりたいと思いますが、なにかございますでしょうか。</p>
●事務局	<p>事務局としては、ございません。</p>
○委員	<p>よろしいですか。</p> <p>一点目は、ニーズ調査についてではないのですが、受ける事業者側のアンケート</p>

	<p>も考えていただければと思います。受ける側の姿勢や問題点もいろいろとあると思いますので、そういう形もあるといいと思いました。</p> <p>二点目は、もうすでに入所受付が始まっていると思いますが、認定こども園特有の問題として、1号認定と2号認定の枠の問題が出てきていると思います。3号認定については市に任せるしかないと思いますが、年少・年中・年長等の2号認定については園に任せていかないと1号認定と2号認定のバランスが見えない。2号認定がどのくらい申し込んできているのか見えないので、例えば1号認定の方を受け入れて、2号認定の方を全く受け入れられないという考え方も成り立ちます。また、3・4・5歳の動きというのはそんなにないと思われますので、市としても2号認定の窓口を園に任せると事務的には簡単なのかもと思います。</p> <p>またある例として、2号認定では入れないので1号認定として入りますという方も出てきて、私たち認定こども園は、受け入れ態勢としてクラスや枠組みがややふやになりますので、3・4・5歳の受け入れは各園に任せるということですが、その点どうお考えですか。</p>
●事務局	<p>同じ3・4・5歳が、1号認定になったり2号認定になったりと変わることがありますので、クラス編成の中でいろいろとご苦労されているところがあるかと思いますが、2号認定・3号認定は市町村が入所調整をするという法律がございますので、そこは市の方で行わせていただいて、1号認定と2号認定の調整は園としっかりとさせていただくしかないと思っております。</p> <p>2号認定と3号認定は、10～12月という長い募集期間を設けて、そのあとの調整ということで時間がかかりますので、その点でもご苦労おかけしている部分もあると思いますが、その点も含めて、よく情報交換をさせていただいて、できるだけそういったご不便をおかけしないようにしていきたいと思っております。ですので、基本的には、2号認定についても、3号認定と同じように市の方で行っていくということになります。</p>
○委員	<p>他の市町村でも例があるので、その辺をもう少し緩やかにできないかと思っております。そうしないと、こちらも来年度入所する児童の予想がつかない。そして、1号認定と2号認定のバランスの予想もつかないということになります。1号認定で全部埋めてしまえば、2号認定を全部断りますということにもなりますので、その中で認定こども園としては1号認定と2号認定のバランスをとるのは厳しいなと思っております。ですので、もう少し緩やかにできないのかなと思うのと、うまい方法論があればお願いしたいなと思っております。</p>
○会長	<p>要望がありましたので、ご検討いただければと思います。</p> <p>ほかの委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>それでは、特にないようですので、(3)その他の案件を終了したいと思います。</p> <p>今度は議事ではないその他の方でなにかございますでしょうか。事務局の方から何かございますでしょうか。</p>
●事務局	事務局ではございません。
○会長	<p>それでは、その他も終了といたします。</p> <p>本日は会議の円滑な運営に御協力頂きまして、ありがとうございます。</p> <p>以上を持ちまして、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございます。</p>

5 その他

6 閉会